

## 令和元年度に事後評価を行った評価結果（概要）について

1. 計画の指標の達成状況は次のとおりとなっている。

評価対象計画数	計画に掲げる指標をすべて達成した計画数	指標の達成が100%未満のものがあった計画数
1	0	1

2. 計画に掲げる指標をすべて達成した地区の、本計画に取り組んだ効果として、次のような実績があった。

(1) 農村の振興

・該当なし。

(2) グリーン・ツーリズム、都市農業の振興

・該当なし。

(3) 農業生産基盤の整備

・該当なし。

(4) 中山間地域等の振興

・該当なし

3. 指標の達成が100%未満のものは次のとおりであった。

評価対象計画数	指標の達成が100%未満のものがあった計画数	うち指標の達成が70%未満のものがあった計画数	うち指標の達成が50%未満のものがあった計画数
1	1	0	1

4. 指標の達成が未達成となった主な要因としては、次のような事例があった。

(1) 農村の振興

・該当なし。

(2) グリーン・ツーリズム、都市農業の振興

・都市との交流による農村の活性化を図るため、農家民宿及び宿泊施設の宿泊者数の増を目指しているが、宿泊施設については、平成29年度末に運営会社が変わったことで、これまでのように近隣施設等と連携を図ることが難しくなった。交流施設については、知人等へのクチコミによる情報発信やリピーターへのDM送付、受入体制整備等の取組により農業体験者数は目標を達成したが、宿泊者数は、住宅宿泊事業法施行に伴う田舎ツーリズムでの宿泊体験の取扱変更を主因に減少している。宿泊者受入に係る手続きを適切に行い、早期に受け入れの再開を目指す。引き続き情報発信の強化、体験メニューの再構築、体制整備に注力し、目標達成を目指す。

産直市については、高齢化等により産直会員数が減少傾向であるものの、新規会員の獲得も行い、会員数は横ばいを維持した。即時納品体制の整備に努め、更には地域会員の協力を得て、ぼた餅や地元食材を使った総菜の販売など店舗運営の充実を図る取組が実施できたが、宿泊者数の減少等により販売額が減少し、目標には達していない。今後も新規会員の確保に努め、顧客の求める総菜等の開発や多品目販売の維持に取り組み、目標達成を目指す。

今後も地域内の他施設への誘致と連動した旅行商品の開発、他地域との差別化を図る体験メニューの再構築などを行い、農家民宿及び宿泊施設の宿泊者数、地域商品の販売額の増加を図っていくこととするが、これらの指標については、情勢の変化に応じた新たな視点での対応を加えていく必要がある。

(3) 農業生産基盤の整備

・該当なし。

(4) 中山間地域等の振興

・該当なし。

5. 指標の達成が未達成となった計画については、今年度指標が未達成となった要因等を分析するとともに、「改善計画」を作成し、農政局の指導のもと、県・市町村が連携し、指標達成に向け取り組んでいる。

また、活動に支障をきたすことがないように、情勢の変化に即した対応を速やかに行っていく。